

「未来の東京」戦略

令和3(2021)年3月
東京都

～渋沢・後藤の精神を受け継ぎ、新たな地平を切り拓く～

1. 女性の希望に応じた生き方・働き方サポートプロジェクト



○ 自らの希望に応じて生き方、働き方を選択でき、自分らしく輝くことができるよう、女性のライフステージに応じて、教育、就労、妊娠・出産・子育て、地域活動など様々な分野にわたって、きめ細かいサポートを重層的に展開

希望に応じた働き方を選択できるよう多面的にサポート

職場環境の整備

- ・ 育児・介護と仕事の両立支援や女性の採用拡大のための職場環境整備など、働きやすい職場環境づくりに取り組む企業に、奨励金の支給や専門家の派遣を実施
- ・ 結婚、出産、育児又は介護等を理由に退職した方が、退職前の会社に復帰できる制度を整備した企業を助成



働き方改革・テレワークの定着

- ・ 企業の働き方改革を推進するため、雇用環境整備等に関する総合相談窓口の設置や推進をサポートする専門家派遣を実施
- ・ 女性求職者とテレワーク企業とのマッチングを支援するため、託児付きでのマッチングイベントを開催



再就職支援

- ・ 「女性しごと応援テラス」を運営し、出産や育児、介護等で離職した女性など、家庭と両立しながら仕事に就きたいと考えている方を主な対象として支援
- ・ 就職活動のノウハウセミナーや職場体験等を組み合わせた支援プログラムを託児付きで提供
- ・ 正社員として再就職を目指す女性向けに、ライフスタイルに応じた多様な職業訓練を提供
- ・ 再就職に踏み切れない女性に向けた支援として、育児と仕事の両立方法を学ぶ講座や再就職への自信を持つためのインターンシップを託児付きで実施



女性活躍の推進

- ・ 女性による起業を促進するため、起業アクセラレーションプログラム「APT Women」を実施
- ・ 女性経営者等の活躍を促進するため、女性経営者イベント「NEW CONFERENCE」を開催
- ・ 公共調達を通じて女性活躍を推進するため、公共工事等の総合評価方式の評価項目への加点を実施



様々な悩みや不安を持つ女性を重層的な相談体制でサポート

女性の悩み相談サイト「TOKYOメンターカフェ」

- ・ 女性が、ネット上で助言者に相談できる場を創設



様々な悩みを抱える女性への相談支援

- ・ 東京ウィメンズプラザや東京都女性相談センター等で、配偶者暴力(DV)など、様々な悩みを抱える女性への相談支援を実施
- ・ 若年層を主な対象として、LINEを活用した配偶者等暴力(DV)相談を実施



自殺防止のための相談支援



若年被害女性等への支援

- ・ 様々な困難を抱えた若年被害女性等に対して、NPOなど、民間支援団体と密接に連携し、アウトリーチ支援などを実施



生活困窮者に対する相談支援

「生理の貧困」等への対応



未来の東京戦略

version up 2023

令和5（2023）年1月



令和4(2022)年2月

東京都



「未来の東京」戦略

version up 2022

政策をバージョンアップする6つの切り口

① 安全安心

都民の命と生活を守る基盤「危機管理」

■ 新たな調節池整備
に着手



■ 東京 i CDCの機能を一層強化し
感染症に強い都市へ



■ 島しょ地域など
無電柱化を加速

■ 東京の危機克服・都市強靱化
10か年プロジェクト

■ DX等を活用し、自然災害への備えを強化

③ グリーン& デジタル

自然と共生した持続可能な都市

■ 「2030年カーボンハーフ」に向け、建築物の
ゼロエミ化、自動車の脱炭素化等を強力に推進

■ ウォークラブルな「人中心」
のまちづくりを推進

■ 「スマート東京」先行実施エリアの
取組強化・横展開



■ 緑を「守る」「増やす」取組を多面的に展開
■ 外濠浄化の推進により「水の都」を実現



② 共生社会

バリアフリー「段差のない社会」

■ あらゆる施策の多様性と包摂性を高め
共生社会を実現



■ 都内全域で
「段差のない社会」を創出

■ 若者・ひとり親家庭など、
困難を抱える方へのサポート

■ 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）解消など、女性の活躍を加速
■ デジタル等を活用した高齢者のQOL向上を一層推進

■ 成長分野への就業支援、長期失業者への集中的なフォローアップ

④ グローバル

世界から選ばれる金融・経済・文化都市

■ 世界最先端を実現する
東京ベイ e S Gプロジェクトを推進

■ 東京が誇る「観光」を再興し、
「食」の魅力を高める多様な
振興策を展開



世界発信



■ 国際金融都市に向けた歩みを進める
■ 文化・エンターテインメントがあふれ
「楽しさ」を生み続ける都市へと進化

⑤ チルドレン ファースト

子供の目線からの政策展開

■ 子供政策を総合的に
推進する体制を構築

■ 官民一体となった
「こどもスマイルムーブメント」
を戦略的に展開

■ 子供の参加・対話を通じて
政策の質を向上

■ DXや社会の力を一層活用し、
新たな「東京型教育モデル」を強化

■ 誰一人取り残さない視点から
子供へのサポートを強化



⑥ 都政の構造改革

シン・トセイの加速

■ 5つのスタンスで改革を更に実践

- ユーザーとの対話を徹底する
- Q O Sを徹底して数値化し、デジタルで爆上げする
- 働く環境を変えることで、人を、仕事を、組織を変える
- 制度や仕組みなどの構造的な課題に切り込む
- 変革をスピードアップし、サービスをいち早く実現する



シン・トセイ 2

■ コア・プロジェクトを加速しデジタルガバメント・都庁の基盤を構築
■ 各局リーディング・プロジェクトを拡充し、都政のQ O Sを飛躍的に向上

2. 様々な困難を抱える方の状況に応じた支援も一層充実

子供



- 多摩地域の管轄区域の見直しや民間事業者等の活用などにより、児童相談所の体制を一層強化
- 社会的養護経験者(ケアリーバー)に対し、一人暮らし支援の期間を拡充するとともに、相談支援体制を強化
- 不登校に対応する専門教員等の配置や、効果的な体験プログラムを提供し社会的自立を支援するなど、校内ならびに学校外における不登校対応を強化



若者



- 「若ナビ」において、若者の多様なニーズに対応し支援を提供するため、AI等を活用した相談ツールを新たに導入
- 悩みや不安を抱える若者に支援機関等の情報を広く発信し、後押しを行う若者応援プロジェクトを推進
- 青少年の抱えるネット・スマホ等のトラブル相談窓口である「こたエール」について、新たにチャットボットを導入するなど、相談機能を強化



女性



- 配偶者暴力に関し、暴力の防止と被害者の保護を図るため、都としてグループワーク等のプログラムを実施し、加害者対策を推進
- LINEを活用した配偶者やパートナーからの暴力被害に関する相談を実施
- 夫婦や親子問題、生き方・職場の人間関係、セクシャルハラスメントや配偶者暴力等、男性の抱える様々な悩みについての相談も実施



外国人



- リーフレット等を用いた「やさしい日本語」の活用促進等、日本人と外国人が共に活躍できる環境整備を一層推進
- 地域の多様な関係者が参画する新たなネットワークの構築等、多文化共生に関する地域の連携や取組を強化
- 「多文化キッズコーディネーター」を配置する区市町村を支援するなど、日本語を母語としない子供とその保護者の困りごとや悩みに寄り添い、適切な支援や情報につなぐ体制を強化



ひきこもり



- ひきこもり支援プログラムを改定し、中高年層を含む全ての世代を対象とした支援を充実
- リーフレットやポスターの作成、ネット・コンビニ広告の実施等、都民等へひきこもり支援に係る普及啓発を強化
- ひきこもりサポートネットにおける相談支援体制の拡充、相談窓口を設置する区市町村への支援等、取組を強化



高齢者



- スマホの使い方に関する身近な相談の場を設置し、デジタル活用を支援
- 身近な場でスマホの使い方等を教える「TOKYOスマホサポーター」の裾野の拡大を推進

障害者



- 難聴児支援に係る、相談対応等を行う中核的機能の整備を実施
- 地域の相談支援体制の整備を図るため、アドバイザー派遣等により、地域におけるネットワーク構築を支援

生活困窮者



- 生活困窮者と繋がる社会福祉協議会等に対し、フードパントリー支援を拡充
- 住居喪失不安定就労者等へ、サポートセンターによる居住支援等を実施し、支援が行き届くようアウトリーチを強化

ひとり親



- ひとり親の方々のスキルアップや就職活動の支援を拡充
- ひとり親のスキルアップ訓練等を早期に実施するため、重点的な広報の実施により対象者からの申込みを促進

犯罪被害者等



- 性犯罪・性暴力被害者支援の充実を図るため、協力を依頼している医療機関の拡充等、関係機関の連携を強化
- 痴漢撲滅に向けて、民間事業者との協働によるムーブメント創出や、痴漢撲滅キャンペーンの展開等を実施

性的マイノリティ



- 事業者への訪問支援等により、東京都パートナーシップ宣誓制度の普及・活用を促進
- LGBTの理解促進等を旨とする中小企業等に対して、研修・助言を実施

様々な不安や困難を抱える人々に寄り添い、誰一人取り残さない社会の実現へ

